



ゼロ

〈Start!〉

須賀川市立仁井田中学校
学校通信 No.76
発行者：校長 中瀬 宏昭

令和6年度入学式が行われました!

桜の開花とまではなりませんでした。4月8日(月)に、令和6年度入学式を行いました。須賀川市教育委員会教育委員、須賀川市議会議員、PTA役員の皆様を来賓としてお迎えし、36名の新入生を仲間として迎えることができました。担任の呼名に対して、一人一人が元気に返事を返すことができ、その姿からは新しいスタートである中学校生活に対する決意と意気込みを感じることができました。

生徒会長からは在校生を代表して仲間とともに「切磋琢磨し、協力しながら一緒に取り組み、自分自身の人間性を豊かにしていこう」と『歓迎の言葉』が述べられ、それに応じて、新入生からは「仲間との友情をさらに深め、それぞれに描く自分の夢を実現させるため、日々努力していきたい」と『誓いの言葉』が返されました。在校生の校歌(本校の校歌は三部合唱!)も素晴らしく、在校生、新入生で創り上げた感動的な式になりました。



新たに5名の職員が転入しました!

3月28日の離任式では6名の職員が異動し、寂しさが募っていましたが、この度、4月1日付けで5名の職員が転入しました。

4月8日の着任式で、全校生徒に紹介し、保護者の皆様には先日リバーで紹介させていただきました。着任式では生徒会役員から「先生方の御指導をいただきながらよりよい仁井田中にしていきたい」と歓迎の言葉が述べられ、転入職員からも生徒に一言ずつあいさつをいただきましたが、転入職員からは、着任後の生徒の挨拶の素晴らしさなど、早速本校の生徒が大切にしていることを感じてくれていました。昨年度より、職員数は1名減ではありますが、どの教職員も意欲に満ちていて減少を感じさせません。



いよいよ令和6年度がスタートです。『全ては子どもたちのために!』27名全教職員力を合わせて頑張ります。【裏面に続く…】



※仁井田中学校ホームページもこまめに更新されています。ぜひご覧ください!

歓迎の言葉

温かな日差しに包まれ、心地よい春の風を感じる季節になりました。

満開の桜を心待ちにするこの佳き日に、仁井田中学校に入学された三十六名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私たち2・3年生は、皆さんの入学を、とても心待ちにしていました。



ここにいる皆さんは、真新しい制服に身を包み、これから始まる新たな生活に期待や不安を抱きながら、この仁井田中学校の門をくぐられたことでしょうか。僕たちもそんな皆さんを目の前にして先輩としての責任に身が引き締まる思いでいます。

さて、皆さんはこれから中学生として、この仁井田中で三年間を過ごしていくわけですが、中学校は、小学校と違う点がいくつかあります。

まず、学習面では算数が数学、図工が美術になるなど、教科の名前が変わります。そして、教科ごとに担当の先生も変わります。さらに、学習内容は小学校よりも難しくなります。他にもさまざまなテストが行われ、常に自分の学力と向き合うこととなります。学習を行う中で自分の得意なことや興味関心を追求したり、自分の生き方を考えたりしながら、仲間と切磋琢磨して励んでいきましょう。また、放課後の活動として、各部活動に参加します。すでに入る部活動を決めている人もいかもしれませんが、これからの部活動見学や体験活動などを通して、自分が楽しいと思え、三年間続けられる部活動を選んでください。活動の中では、戸惑うことやつらいと思うことがあるかもしれませんが、皆さんの周りには、ここにいる仲間や頼りになる先輩方、そして手を差し伸べてくださる先生方がいます。仲間と協力して勝利を勝ち取ったときや、自分の思いを表現した作品が入賞したときの喜びは、何にもかえがたいものがあります。仲間とともに、自分自身の人間性を豊かにしてください。

そして、委員会活動は、全校生で学校生活を造り上げる大切な活動です。中学校では、自分たちで気付き、行動しなければなりません。一人一人が今何をすべきなのか、考えて行動しなければなりません。時間を効率的に使い、わからないことがあったら、先生や仲間と相談し、協力して取り組んでいきましょう。

最後に、仁井田中学校には「笑顔にっこり」「言葉ははっきり」「時間きっちり」というスローガンがあります。これには、「教室に笑顔があふれてほしい」「自分の言葉で考えを述べてほしい」「時間を守り、規律ある行動をしてほしい」という思いが込められています。仁井田中生として、ぜひ、このスローガンを胸に、一緒に成長していきましょう。

中学校で生活する三年間はあっという間です。一日一日を大切に過ごしてください。皆さんが、早く学校生活に慣れて、たくさん活躍できることを期待して、歓迎の言葉といたします。

令和六年四月八日

生徒代表(生徒会長) 影山 光明

ちかいの言葉

少しずつ春の息吹が感じられる今日、四月八日。中学校の制服に身を包み、三十六名の仲間と共に、この仁井田中学校に入学することができましたことを、心からうれしく思います。

私たちはこれまで、小学校で様々なことを学び、充実した生活を送ってきました。これから始まる中学校生活では、小学校とは違い、大きく変わることも多く、少しの不安はありますが、先生方や先輩方に導いていただきながら、一日一日を大切に過ごしていきたいと思えます。そして、今日からは、この仁井田中学校の生徒として過ごす決意を新たにもち、次のことをがんばっていききたいと思えます。

一つ目は、真剣に学習に取り組むことです。中学校の学習は、小学校より難しくなると聞いています。しっかりと毎日の授業を受け、家庭学習にも励んでいこうと思えます。

二つ目は、いろいろな活動に真剣に取り組むことです。特に、部活動への参加は、ずっと楽しみにしていたことです。しかし、部活動は、楽しいことばかりでなく、つらいこともあると思えます。それらを乗り越え、心身ともに成長していきたいと思えます。

明日からの中学校生活では、仲間との友情をさらに深め、それぞれに描く自分の夢を実現するため、日々努力していきたいと思えます。先生方、先輩方、どうぞよろしくお祈いします。

最後に、私たち三十六名は、一人一人が、この伝統ある仁井田中学校生として、立派な中学生になることをお約束し、ちかいの言葉といたします。

令和六年 四月八日

新入生代表 滝田 桜愛



